

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、産婦人科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] The edematous change in the placenta as predicting markers of preterm birth in post-Fontan pregnancy: a single-center observational study
胎盤浮腫状変化のフォンタン術後妊娠における早産予知マーカーとしての有用性の検討

[研究対象者] 2015年1月～2022年12月までの間に、産婦人科で妊娠22週以降の妊娠管理・分娩を行なったFontan手術既往のある妊婦

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、身長、体重、分娩様式、分娩週数、新生児の出生体重、各種検査所見

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

妊娠中の超音波検査所見による胎盤の浮腫状変化が早産予知に有用である可能性を検討します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 産婦人科学講座 産科学分野 教授・基幹分野長 水主川 純

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 産婦人科学講座 渡辺智之
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）